

## 進捗状況の概要

平成27年度は文部科学省の採択から限られた期間であったが、事業の実施体制を速やかに整えて、平成28年度入学生を対象とした教育カリキュラムについて地域志向科目の充実を図るとともにニュースレター発行により事業の広報に努め、平成28年度の本格的な事業実施に向けて準備した。

### 1 教育カリキュラムの整備・推進

平成28年度入学生を対象とした学内での検討体制を整え、平成28年度の教育課程表を作成し、地域志向の新規科目を導入するなどカリキュラムの充実を図った。また、参加大学等との協議の場を設けて単位互換に関する意見交換を行った。キックオフ・フォーラムを開催し、講演とCOC+の概要説明を通して、事業推進への意識の共有を図った。学内で開催した教職員に対する研修会については、教職員の事業参加、協力を促した。取組項目については概ね計画に沿って実施した。

### 2 観光関連データベースの構築

データベース構築のための検討体制を整えて、仕様の策定と収集する情報に関する検討を行った。仕様については授業での活用を視野に入れたものとし、情報収集については自治体に対して提供依頼を行った。データベースの運用開始は平成28年3月に予定していたが、運用を多少遅らせても試験的な活用結果を見極める必要があることから、教員による試験的な活用期間を設けた。今後、収集するデータ量が多大になることが予想され、段階的な公開・運用を検討する。取組項目については概ね計画に沿って実施した。

### 3 観光振興を目的とした教育研究事業の立案・推進

平成27年度は、広島市立大学を中心に平成28年度から実施するアートプロジェクトについて、内容の検討や実施候補地を抽出しプロジェクトを特定し、一部の事業を実施した。廿日市市宮島に設置する教育研究拠点施設の候補地を絞り込み、歴史のある町家に決定した。学内の競争的な研究資金の活用による研究事業を新設し募集を行った。参加大学による教育研究事業の実施計画の策定については、限られた期間内に参加大学間の事業の決定には至らなかったが、各大学での検討や取りまとめの協議を行った。取組項目については概ね計画に沿って実施した。

### 4 事業運営(実施体制の整備等)

事業協働機関数について、事業の申請時の、大学、自治体、経済団体・企業等57機関から、その後1大学1高等専門学校、7町の参加を得て、最終的に66機関の体制となった。事業を担当する教員については、事業の調整担当、教育研究担当をはじめ5教員の採用及び内定を行った。専用ホームページの公開は年度終了後となったがコンテンツの作成を行った。取組項目については概ね計画に沿って実施した。